

ふれあいかんだより

3

かわさき
川崎市ふれあい館

くじょうかいけつせきにんしゃ
苦情解決責任者
ちえ かんいちや
崔 江以子
すずき けん
鈴木 健

かわさきかわさきくさくもと
〒210-0833 川崎市川崎区桜本1-5-6 TEL : 044-276-4800
http://www.seiky-sha.com e-mail : fureaikan@seiky-sha.com

かわさきしょかん
川崎市所管
みらいきよせいしやうねんしえんしつ
こども未来局青少年支援室 (Tel.044-200-3083)

2024.3.1

No.419

こどもキッチンを開催しました。



1月27日(土)にふれあい館の湯沸かし室で、小学6年生3人と職員で「こどもキッチン」を開催しました。小学生たちと一緒に「こどもキッチン」で振る舞うメニューを考え、当日に向けてふれあい館の一階にある一室のレイアウトやメニューのアレルギーの下調べ、そしてポスターを作りました。当日は小学1年生から中学2年生まで20名の参加があり、大好評でした。手伝ってくれた小学生は、頑張って作った料理をおいしく食べてくれることにとってもやりがいを感じていました。

伽耶琴講座がはじまりました。



2月10日(土)より民族文化講座「民謡を弾こう」が開催されました。今回は韓国・朝鮮の楽器でカヤグムという琴を参加者の皆さんと習いました。全5回の講座を行い、学んだことを生かして最後に社会教育研究集会のふれあいフェスタで発表を行います。他の国の楽器に触れる機会に参加者の皆さんはとても熱心に受講されていました。講座時間終了後も部屋に残って自習する方もいました。これから発表に向けて練習を重ねて頑張っていきます。

さくら小学校でキムチ漬け交流会を行いました。



2月7日(水)にさくら小学校6年生と川崎朝鮮初級学校の6年生と在日コリアンのハルモニ(おばあさん)によるキムチ漬け交流会が行われました。5日の放課後から学校の先生とふれあい館職員によって塩漬け、ヤンニョム(キムチのたれ)づくりが行われ、7日にハルモニが先生役となってこどもたちと交流しました。いろんな国の文化が重なり合う桜本では地域と学校が多文化共生を発信するととても尊い時間となりました。

ふれあい館 3月の予定

こども部門 子育て支援、児童の放課後生活の援助、こどもの学習と文化活動の支援

●こそだて支援・・・乳幼児とおとなのためのプログラム 〈定例のプログラム〉

ぴよぴよタイム	5日(火)	10:30～11:30	身長と体重が測れます。大きくなったかな？
木のおもちゃ	7日(木)	10:30～11:00	やさしい木のおもちゃで遊べます。
ホールで遊ぶ	21日(木)	10:30～11:30	2Fのホールで遊べます。

家庭教育学級

●3月14日(木)10:00～11:30 ②「囚われから解放しよう」講師 稲生和子さん

お母さんになったらこうならないと。。。と思って辛いことはありませんか？自分も大切にすることを考えましょう。

●3月18日(月)10:30～11:30 ③「さすってからだメンテナンス」講師 森田融枝さん

リンパドレナージュの手技を学んで老廃物の排出を促しましょう♪

※予約制です。電話か来所で受け付けます。044-276-4800

キッズスペースろばではママたちの活動中の保育支援をしています。

くわしくはキッズスペースろばまで

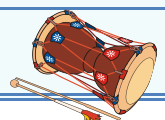
●小中学生プログラム・・・他にプログラムがあるよ♪ くわしくはたより(あそぼ)をみてね

ろばといっしょ	29日(金)	10時～	きつずすぺーすの子たちと異年齢交流をします。
---------	--------	------	------------------------

ふれあい館の小中学生プログラムは、みんなの意見をもらいながら、毎日のプログラムをたてています。館に毎月のたより(あそぼ)があります。

●民族文化サークル

ぶよう 舞踊クラブ	まいしゅう 毎週	かようび 火曜日	4時～5時30分	かんこく 韓国・朝鮮の踊りを習います
ハロハロクラブ	まいしゅう 毎週	すいようび 水曜日	3時～5時	がっこう 学校の宿題や、いろいろな国の遊びや文化を学びます。
こ 子どもチャンゴ	まいしゅう 毎週	きんようび 金曜日	4時～5時30分	かんこく 韓国・朝鮮の打楽器を習います



●中高生の活動

しょう 小・中学生学習	まいしゅう 毎週	か 火・水・木曜	7時～9時	おも 主に新渡日外国人の小・中学生(水曜日・土曜日)、および経済的に困難で学習塾に行けない中学生(火曜日・木曜日)の基礎学力保障のための学習会
サポート	まいしゅう 毎週	とうりょう 土曜	1時～3時	

2023年度川崎市ふれあい館人権講演会 part②

「こども食堂のいま」

地域の身近なこどもの居場所としてこども食堂が注目されています。今、全国に9千か所を超えるほどの広がりを見せています。そもそもこども食堂とはどういうものなのか、そして、コロナ禍を経て、こども食堂はどのように変化し、今、どのような姿になっているのかを紹介していただき、地域でのこども食堂の活動を考えていきたいと思います。

講師 米田佐知子さん

日時 ①3月9日(土) 14時～16時

場所：川崎市ふれあい館 川崎区桜本1-5-6 申し込み 044-276-4800 fureaika@seikyu-sha.com

主催 川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

2023年度川崎市ふれあい館人権尊重学級 part②

「文字から社会を考える」

①3月16日(土) 「識字活動から平和を考える (ウリマダン共同学習者) 16時～18時 ～ハルモニの言葉に触れて～」 小松恵さん (ウリマダン共同学習者)

②3月22日(金) 「地域史を刻む 山田貴夫さん 18時30分～20時30分 ～川崎・桜本の歴史～」 (在日コリアン生活・文化・歴史研究会代表)

②3月30日(土) 「『世界』の門番だった文字 中村一成さん 16時～18時 ～在日コリアンの声を刻み続けて～」 (ルポライター)

場所：川崎市ふれあい館 川崎区桜本1-5-6

事前申し込み制です。申し込み先 044-276-4800 fureaika@seikyu-sha.com 担当 遠原

主催 川崎市ふれあい館・川崎市教育委員会

●識字学級

曜日	まいしゅう かようび きんようび 毎週 火曜日・金曜日	さんかひ おりよう きょうざいひ じつび 参加費 無料 (教材費は実費)
じかん 時間	10:00～11:30	がつ にち こんねんど しゅうりよう 3月22日で今年度は終了です。

●高齢者 在日高齢者と世代・民族を結ぶ交流事業や高齢者の生活相談

在日高齢者交流クラブ「トラズの会」

在日高齢者の自主活動です。感染予防をしながら活動します。毎週火曜日10時30分から活動しています。詳細やご相談は044-276-4800までお電話ください。

社会福祉法人青丘社では、日本語が壁になって様々な行政サービスにつながりにくくなっている外国につながる方々の様々な手続きをお手伝いする活動を行っています！

●入学の書類・学校でもらった書類書きのお手伝いをします。

入学の手続きの書類や学校でもらった書類の書き方がわからない方はふれあい館に学校でもらった書類を持ってきてください。

●「クッキングナイト」で子どもたちとかかわってみませんか。

いつも10人くらいの中高生たちと、晩御飯の買い出しから調理、食事、片付けをしながら土曜日の夜の時間を一緒に過ごしています。そこであたらしく、いろいろな会話をしながらゆるやかに子どもたちと関わることを楽しんでもらえる方を募集しています料理を教える・教えてもらうだけの関係だけじゃなく、ときには一緒に遊び、ときには悩みに寄り添ってあげるようなフラットな関係性で関わってもらえたら嬉しいです。月に一回のご参加でも大歓迎です。ぜひご参加お待ちしております。担当 田中



■「昔は“臭い”と嫌われ者だったキムチが今ではみんなの大好物。子どもたちと一緒に作れるようになるなんて夢の

よう」さくら小学校でのキムチ漬け体験授業で講師を務めたハルモニの感慨深い言葉に、周りのハルモニ方もうなずいていた姿がとても印象深い。2009年から始まった小学校でのキムチ漬け体験は15年を数え、延べ1000人を超える子どもたちと小学校でキムチ漬け交流が重ねられてきた。その過程でさくら小学校と朝鮮学校の子どもの交流として位置づけられ、コロナで中断していた交流も今回から再開した。■「子どもたちにキムチ漬けを指導してください」の呼びかけに10名ものハルモニが喜んで応えてくれた。子どもたちのキムチがおいしく仕上がるように、いつもは言葉少ないハルモニが多弁になる。「子どもたちが自分でつけますよ。教えてあげてくださいね」の言葉にうなずきつつ、おい

しくなるようにつつい手が出る姿も何時ものこと。はじめは緊張していた子どもたちも、ハルモニの愛情たっぷりの対応に思わず笑顔がこぼれる。その姿に準備でくたくたな私たちふれあい館職員も心とんだ。■教育活動の中で多文化に触れる取り組みが大切に継続され、子どもたちの心に【違いは豊かさ】だと気づく種まきがされ、丁寧に育てられている。ともに生きること、差別のない地域社会の土壌を作り上げる教育の力にいつも感動している。その教育現場に地域のハルモニ方がともに在る。これがまさに私たちの街、桜本の宝であり誇りだと実感し胸がいっぱいになる。■「なんで？キムチおいしいのに嫌われてたの？」「学校の帰りに我慢できなくてつまみ食いしちゃった」屈託なく話す子どもたちのやわらかい感性は希望そのものだ。地域で大切に積み重ねられてきた、出会い、ふれあい、互いの違いを尊重し合うという営みをこれからもふれあい館がともにやくわりを担わせてもらい、共生の街桜本を培っていききたい。(崔)